

平成28年 9月 7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成28年 8月次 月次概況 (速報) のお知らせ

平成28年 8月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 27 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	593	440	534	470	456	544	510	552	558	464	387	490
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	164,450	87,835	93,958	80,634	80,504	92,881	83,564	89,674	95,887	71,822	55,460	64,288
顧客口座数 (単位：口座)	253,179	254,732	256,494	258,189	259,825	261,736	263,685	265,521	267,463	268,916	270,219	271,544
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	48,114	47,653	47,961	48,896	48,707	50,101	50,236	48,253	52,815	51,725	50,355	49,480

年 月	平成 28 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	572	559	529	473	468	738	551	401				
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	92,445	96,278	70,156	74,405	68,455	91,113	88,556	61,925				
顧客口座数 (単位：口座)	272,521	274,164	275,538	276,891	278,360	280,816	282,791	284,866				
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	60,316	60,224	59,769	59,413	59,478	57,133	57,278	58,715				

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年 5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成23年 8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 8月次の概況 >

8月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝102円台前半で取引が始まり、100円台半ばをつけた後5日に発表された米国雇用統計の結果が良好であったことを受けて102円台半ばまで値を戻しましたが、その後の米国経済指標が相次いで弱い結果となり16日には99円台半ばの安値をつけました。その後は、米国利上げに対する思惑が交錯する中、相場の方向感が見えないまま100円近辺の極めて狭いレンジで推移しました。ところが、26日にイエレンFRB（米国連邦準備制度委員会）議長、フィッシャー同副議長が利上げを示唆する発言を行うとドルが買われ、その後に発表された米国経済指標が良好な結果であったこともあり103円台半ばで月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、概ね狭いレンジでの相場推移となり、米ドル／円を含めての全体としての変動率は、前月、前々月から大きく低下し、年初来最低の水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、前月まで変動率の高かった欧州・オセアニア通貨を中心に減少し、前月比30%減少の619億通貨単位となりました。一方、営業収益は、取引高当たり収益性が相対的に低い米ドル／円の割合が非常に高くなったことから全体としての収益性が低下した一方、システム子会社の売上が増加したこともあり前月比27%減少の401百万円となりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は前月に引き続き堅調な増加数を維持し、前月比2,075口座増加の284,866口座となった一方、外国為替取引預り証拠金は、外国為替相場の変動率低下の反面顧客ポジション再構築の動きもあり、前月末比1,436百万円増加の58,715百万円となりました。なお、このうち、BtoB取引先である金融法人からの預り証拠金は、前月末比641百万円増加の9,541百万円であります。

以 上